

Rational Manifesto

知的幸福の技術

昭和の「常識」という呪縛から、あなたを解放する「生存戦略」の書



Based on the book by 梶玲 (Akira Tachibana) | Presented by Phoenix-Aichi

あなたの「漠然とした不安」 の正体

「年金は本当にもらえるのか？」
「家を買うのが正解なのか？」
「保険に入らないと危険なのでは？」

残酷な真実：
終身雇用・持ち家・退職金・年金を前提とした「昭和の標準的人生設計」は崩壊しました。

その古い地図を信じて歩き続けることは、もはや「安定」ではなく「緩やかな自殺」です。

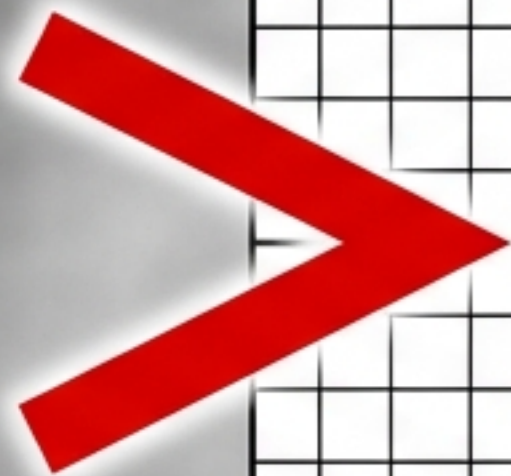
SHERPA
TAKASHI SAYS:

「目を覚ませ！
昭和モデルにし
がみつくのは、
もはや自殺行
為だ。このスラ
イドは、あなた
を『不安産業』
から守るための
武器だ。」

感情で決めるな。冷徹に「理詰め」しろ。

不安
恐怖
常識

「不安産業」の餌食



事実
確率
数学

幸福の技術

真の幸福とは、盤石な経済基盤の上に成り立つ『自由』のことである。

BATTLE 1: 生命保険

=「不幸になるまで当たらない宝くじ」



定義:

保険とは、毎月分割払いで購入する宝くじである。

パラドックス:

通常の宝くじは当たりたいと願うが、保険は「当たらない(死なない)」ほうが幸せなのだ。

結論:これは胴元(保険会社)が必ず勝つ「マイナスサム・ゲーム」である。

その「安心代」、ドブに捨てていませんか？



「『家族への愛』という
営業トークに騙されるな！
それは愛ではない。
ただの無知への罰金だ！」

日本の公的保障（遺族年金）
は、世界的に見ても手厚い
セーフティネットです。

「もしもの時」に
本当に必要な額を
計算しましたか？

数千万円の死亡保障は、
本当に必要ですか？

BATTLE 2: 医療保険

民間の医療保険は「差額ベッド代」でしかない

公的保険（高額療養費制度）



自己負担の上限あり
(Capped Cost)



民間医療保険



気休め
(Placebo)

日本で「入院して破産」することは、制度上ほぼ不可能です。
なぜ加入するのか？ それは「不安産業」があなたを脅しているからです。

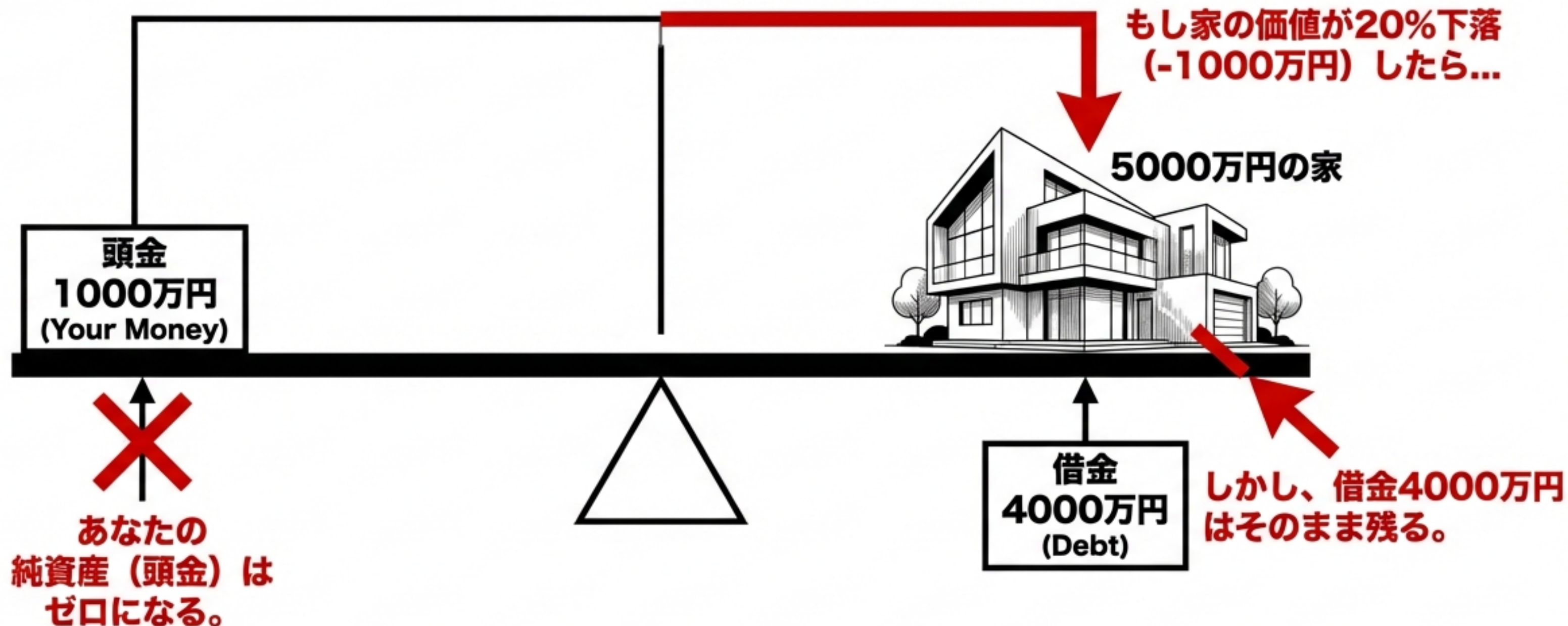
BATTLE 3: マイホーム (THE BOSS)

マイホーム購入は「狂気じみた投資」である



1. 集中投資リスク：全財産をたった一つの不動産に賭けている。
2. 流動性リスク：売れない。動けない。転職もできない。
3. 資産ではない：それは巨大な「負債」を伴うギャンブルだ。

レバレッジ（借金）の恐怖を知れ



Sherpa Takashi

「家を買うなら『城』として買え。『投資』として買うな。
その違いを知らないまま35年ローンを組むのは狂気だ。」

BATTLE 4: 年金

年金は「お化け屋敷」ではない。ただの「算数」だ。


$$\text{必要貯蓄額} = (\text{平均余命} - \text{引退年齢}) \\ \times \text{年間生活費} - \text{年金受給額}$$

(20年 × 400万円) - 360万円(年金) = 年40万円の不足

Total Gap: 800万円

「わからない」から怖いのだ。計算せよ。そして不足分は自分で埋める (DIY) 。

「知」の武装が完了したあなたへ

- ☑ 生命保険：公的保障で十分。掛け捨て以外は**解約**。
- ☑ 医療保険：不要。高額療養費制度を知れば**怖くない**。
- ☑ マイホーム：リスクを理解できないなら**賃貸**一択。
- ☑ 年金：自分で計算し、自分で出口戦略を作る (**DIY**) 。

RESULT: 固定費の最小化 + 資産の最大化 = 自由

知識は「自由への翼」だ!



なぜ学ぶのか？ それは国や会社から尊厳を取り戻すためだ。

「知識は力」ではない。現代において知識とは、あなたを縛る常識から飛び立つための翼なのだ。

「誰のためでもない、あなた自身の人生を飛び立て！」

SPECIAL THANKS & SOURCES

Source Article: Phoenix-Aichi Online Classroom Blog (2026.02.10)

Original Book: 『知的幸福の技術』 by 橘玲 (Akira Tachibana) / Gentosha

Presentation Design: Phoenix-Aichi Technical Writers Team